

中学校第1学年 技術・家庭科学習指導案

1 題材名 「情報モラルについて知ろう」

2 題材設定の理由

○ 題材について

授業でインターネット等を活用することは、生徒自身の学習に対する興味・関心・意欲を喚起し、自発的な学習を促進させ、共同学習やコミュニケーション活動の増大による学びの広がりをもたらすなどの大きな効果が期待できる。また、家庭においても多くの生徒がインターネットや携帯電話を利用し、情報を収集・処理・発信する時代が到来している。

このような状況の中で、特にインターネットや携帯電話でのメール送受信におけるプライバシーの侵害や個人情報の流出等のトラブルが増加している。また、有害サイトへのアクセスによる不当請求の被害者も未成年者が多くなってきている。そこで、大量の情報があふれる中で中学生として、情報の見極めや情報の収集・処理・発信についてのルールやマナーを習得する必要があると考えた。

○ 生徒の実態について

本学級の生徒は、全体的に明るく元気で、「情報とコンピュータ」の学習に意欲的に取り組むことのできる生徒が多い。他の教科等でも、情報収集などでインターネットを利用している。情報モラルに関する実態調査では、家庭にコンピュータがある生徒は22名であり、その中で18名の生徒の家庭がインターネットを使用できると答えた。また、11名の生徒がパソコンや携帯電話等を利用してメールを行っており、生活の中でもコンピュータを楽しみながら使用していることが分かった。

○ 指導について

本時の指導に当たっては、まず、情報モラルに関する実態調査の結果を提示し現状を知らせる。その後、携帯電話のルールやマナーについてのクイズを出題し、本時の学習について見通しをもたせたい。そして、情報モラルに関するデジタルコンテンツを用い、携帯電話を使ってインターネットに接続する際に巻き込まれやすいトラブルを疑似体験させることで、その危険性を知り、携帯電話の使い方について考えさせたい。生徒たちもいずれは携帯電話を持つようになることが予想されるので、携帯電話の利便性だけではなく、インターネットの危険性も知り、より良く活用する態度を育てていきたい。

3 指導計画

- (1) 生活とコンピュータのかかわりを考えよう。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) 情報を収集しよう。（情報の信ぴょう性、著作権の侵害）・・・・・・・・・・・・ 2時間
- (3) 目的に合ったソフトウェアで情報を処理しよう。・・・・・・・・・・・・・・ 3時間
- (4) 情報モラルのある快適な生活を工夫しよう。（個人情報の流出、架空請求等）・・・・ 2時間
 - ・インターネットを利用するときのルールやマナーについて知ろう。
 - ・携帯電話を利用するときのルールやマナーについて知ろう。（本時 2/2）

4 本時の指導

(1) 本時のねらい

携帯電話でインターネットを利用するときの問題点に気付かせ、トラブルなどに巻き込まれないようにする態度を身に付けさせる。

(2) 指導の過程

① 事前の活動と指導

活動の内容	指導・援助の留意点
<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット利用時における問題点をシミュレーションで体験させる。 <p style="margin-left: 20px;">＜インターネットを利用するときのルールとマナー＞</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有害サイトには進まない。 ・ 個人情報などを送信しない。 ・ 掲示板などにむやみに個人情報などを書き込まない。 ・ ネット上にある情報をすべて信用しない。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルコンテンツの体験を通して、インターネットを利用する際の問題点について考えさせる。 <p style="margin-left: 20px;">＜参考サイト＞</p> <p style="margin-left: 40px;">「ネット社会の歩き方」 (http://www.cec.or.jp/net-walk/)</p> <p style="margin-left: 40px;">「インターネットを利用するためのルールとマナー」 (http://www.iajapan.org/rule/rule4child/v2/)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人で協力しながら体験をさせることで、迷ったときや意見が分かれたときには話し合っ解決させる。 ・ インターネットを利用するときの問題点を押さえる。 ・ 自分がトラブルなどに巻き込まれないように指導する。

5 本時の展開

■：評価

過程	活動の内容	指導・援助の留意点
導 入	1 前時のインターネットを利用するときのルールやマナーについて想起し、本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> インターネットは、いろいろな情報を得ることができ、有効に使うと便利であるが、その反面、トラブルに巻き込まれる恐れがあることを確認する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">携帯電話を利用するときのルールやマナーについて学ぼう。</div> 2 携帯電話に関する現状を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話で何ができるかを尋ね、考えさせる。そして、情報モラルに関するアンケートの結果をプレゼンテーションで示し、現状を知らせる。
展 開	3 携帯電話を利用するときのルールやマナーに関するクイズについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションでクイズを出題する。また、解答を教えないことで意欲を喚起する。
	4 インターネットを利用し、携帯電話のルールやマナーについてのシミュレーションを行いながら、情報モラルについて考える。	<p>「情報モラル研修教材 2005」 http://swb.nctd.go.jp/kyouzai_new/taiken/kinou/index04.htm</p> <p>を活用し、体験を通して考えさせる。</p>
	5 携帯電話を利用するときの問題点について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の流出などの問題点を挙げさせ、どのような危険性があるかを発表させる。
ま と め	6 携帯電話を利用するときのルールやマナーに関するクイズについてもう一度考える。	<ul style="list-style-type: none"> 最初に提示したクイズをみんなで解いていくことで、情報モラルについて正しく理解させる。 <p>■ 携帯電話を利用するときの問題点に気づき、自分がトラブルに巻き込まれないようにするための判断力と態度を養うことができたか。</p>
	7 自己評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> インターネットや携帯電話でメール等を行うときには、相手が見えないという特性があることを知らせる。 いろいろなトラブルに巻き込まれないようにするために、今後もルールやマナーを守り、インターネットや携帯電話を適切に利用することを理解させる。
8 教師の話聞く。		